

音楽音響創造研究分野では、各セミナーに相当する「音楽音響創造演習・実習」を通じて、音楽と音響の知識、技術を身につけた上で、それらを横断する様々な作品・作家研究や制作（音響作品等）、新しい録音技法による制作など、先進的な研究テーマに取り組み、修士論文の執筆に結び付けてゆきます。

「音楽音響創造特殊研究」では、各研究分野や各研究テーマに基づいた、更に専門的な知識を得、「総合演習」では、学会等、学外での研究活動のための準備も含め、実践的経験を修得することによって、より高い研究能力を獲得してゆきます。

この他、他専攻の授業科目や他学部開設科目を受講することによって、自身の研究課題に関してより広範な視点から検討する能力を身に付けます。また、2年次前期に開催される修士論文中間発表会では所属教員全員により研究指導が行われ、研究課題に対する異なる視点からの助言を得ることによって研究を深化させてゆきます。

なお、音楽音響創造研究分野の学位取得は修士論文の審査によって行われます（論文に作品を加えることも可能）。